

スポット

- ・ 新年あいさつ
- ・ 事業所紹介
- ・ あかつき日帰り旅行
- ・ 研修報告
- ・ 新人紹介

あかつき



第76号 2019年1月31日発行

発行／編集 社会福祉法人 あかつきコロニー

〒208-0023 東京都武蔵村山市伊奈平 1-64-1

☎ 042-560-7840

<http://www.akatuki.or.jp> Email:soumu@akatuki.or.jp

絵：吉田 直矢（あかつき授産所 作業部3課）



新年あいさつ

理事長 鈴木 賢一

新年明けましておめでとうございます。

昨年はあかつきコロナーが法人認可され丁度五十年を迎えました。その節目として記念誌を発行致しましたが、これ以外には大々的な式典などは控えさせていただきました。

記念誌の発行に当たっては各関係方面の方々より祝辞を頂戴いたしましたことに深く御礼申し上げますとともに、記念誌作成に携わった委員及び職員の皆様のご協力に感謝致します。

昨年は、障がい者の就労支援に携わる者として憤りを感じずにはいられない事態が発覚しました。言わずもがな、国や地方自治体による障がい者雇用率水増し問題です。国が率先して取り組みむべきことを雇用率充足の数合わせの為、不正を行っており、その数実に三千七百人に上るという実態に呆れるばかりです。

一方で、国は障がい者雇用率未達成の企業に対しては罰則を設けています。その為、民間企業は雇用率達成に向けて様々な企業努力をしています。私のゴ

ルフ仲間で花王に勤務していた方がおります。花王は特例子会社花王ビオニー(株)を立ち上げ、障がい者を雇用しています。特例子会社だけでなく、各事業所でも障がい者を採用しているそうです。雇用する上で必要な環境整備や配慮等について研究し、彼らの潜在能力を引き出し、發揮できるよう工夫しています。勿論、その背景には会社名の公表や納付金制度といったペナルティ回避という理由もあるでしょうが、ただ数を揃えることだけを目的とせず、一企業人として誇りを持って働けるよう、責任を持って雇用しています。

国は年内に四千人の障がい者を雇用するとしています。ただの数合わせではなく、本当の意味での障がい者雇用をどのような形で達成させていくのか注目したいところです。

五十年前、障がい者の就労への門戸は非常に狭く厳しいものでした。だからこそ、あかつきコロナーが創設されたのは必然だったでしょう。ただ、私の父、二代目理事長鈴木善四郎が、何

故自身の仕事も抱えながらボランティア同然で、往復四時間かけ、当法人の運営に心血を注いだのかについては長く疑問に思っておりました。父には障害はありません。どのような縁であかつきコロナーと関わるようになったのか今ではもう知る由もありませんが、少なくとも、あかつきコロナーの運動には父の魂を突き動かす熱い何かがあったのは間違いありません。私は小学四年生の時に交通事故に遭いました。その後遺症で今でも右の足首が曲がりません。父が何故、と考えた時に、もしかしたら私の事故も無関係ではなかったのではないかと思わずにはいられません。父には一度も聞いたことはございませんが、

私が事故に遭ったのは六十年以上前になります。当時は医療技術も今ほど進んでおらず、足首切断の危機もありましたが、お蔭様で今では普通に生活を送り、友人とゴルフを楽しむことも出来ており、感謝しております。私は、障害認定五級の手帳を有しております。障害者手帳を所持していると、税金の控除や、公共交通機関の割引、都営交通の無料パス等様々なサービスが受けられます。私自身がよく利用するのは海外旅行の時です。手帳を提示することにより、

飛行機のチェックイン時、前方通路側の席を用意して頂けます。又、税関混雑時には優先通路を利用できます。足の悪い私にとってはこういった配慮がとても助かるものです。

さて、私が理事長に就任してから始まった事業に革製品の製作があります。友人で紳士用ベルトの製造会社の経営者があり、その製造過程で生じる革の端切れを譲り受け、カードケース、キーホルダー、ペン立て、ブックカバーといった小物を製作しています。年に二回、ゴルフコンペの景品にその革製品を使用しています。昨年のコンペで優勝した方が、そのことを知り、当法人のホームページをご覧になってくださいました。この方は、先に話に触れました花王に勤務されていた方で、その甥にあたる方が重度の自閉症で岐阜にある施設を利用しており、その後援会賛助会員として支援をしております。そういった事情から、当法人の活動に関心を寄せていただき、五十年にわたり障がい者就労の支援を続けてきたということに対し非常に感銘を受けてくださりました。

先日写真を整理していたところ、偶然にも五十年前、私の留学先の西ドイツに父が訪問してくれた時の写真を見つけました。



以前こちらでも触れましたが、当時、ヨーロッパに行くには横浜から船でソヴィエト連邦に渡り約1週間かかりました。五十年経った今では十時間ほどで行く事が出来ます。この半世紀の間に劇的に便利になりました。同じ五十年の年月、あかつきコロナーも有形無形の財産を築いて参りました。

これからも皆様のお力添えを頂戴できましたら幸いです。

最後に、私の思うあれこれをつらつらと綴り、まとまりのない話となってしまうかもしれません。どうかご容赦願いたく、これを以って私からの新年の挨拶とさせていただきます。改めまして本年もどうぞ宜しくお願い致します。

事業所紹介

あかつき授産所 作業部1課

エレメント作業



作業の流れとしては入荷された蛇腹状の濾紙をストラット材と呼ばれる金属でかします。次にゴム掛けという作業で濾紙の蛇腹の間隔を均一に揃え、輪ゴムで止めます。その次に2種類のプレートに接着剤を塗布し、ゴム掛けした濾紙の上下に接着します。

これに200℃以上の熱を加え接着剤を固めます。これでエレメントは完成です。最後に規格どおりに出来ているか、外観チェック等最終検品を行ったのち検査表を添付し出荷されます。

以上が各工程の流れです。毎日、利用者、職員が一丸となって楽しく仕事をしています。



作業部一課は、現在14名の利用者さんが在籍しており、職員2名と非常勤職員3人体制の部署で作業を行っています。

作業については工程の細分化を図っており、出勤人数や体調面を考慮した上で利用者さんには過度な負担を掛けずに取り組んで頂いています。ISO9001を取得しており「品質第一」をモットーに、作業の流れや手順を明確化し業務の効率化を図っています。

2019年、作業部一課は「笑顔」をキーワードにみんなで協力し合いながら元気よく頑張ります。

瑞穂町障害者 就労支援センター

明けましておめでとうございます。当センターも今年で8年目を迎えます。本年も皆様からのご指導を頂きながら、更なる就労のサポートを目指してきたいと思います。

昨年を振り返りながら、本年の目標をお伝えしたいと思います。

登録者について

登録者数は126名となり、身体障がい者16名、知的障がい者50名、精神障がい者54名、手帳なし6名となっています。4月から年末までに8名の新規登録者があり、3月の年度末には12名程度が新規登録になると予想されます。毎年10名～15名程度の増加人数はありますが、更に当センターの存在を知ってもらえるように、昨年は瑞穂町の新聞や瑞穂ケーブルテレビにもご紹介して頂きました。今年は活動内容を当センターが発行するニュースレターに掲載し、更に詳しい情報を発信していきたいと考えております。

就職者について

昨年は12名の方々が新たに就職しました。内訳としては、事務補助6名、清掃業2名、建設業1名、リサイクル業1名、スーパー1名、製造1名となりました。就労を目指す方は「近場で就職したい」という希望が多く聞かれますので、今年は例年以上に瑞穂町内の企業開拓に力を注ぎたいと考えております。また、センター全体の就労者数も55名となり、目標としていた50名に達しました。しかし、まだ未就労者数が就職者数を上回っていますので、今年は就職者が登録者の半数を超えるように頑張っていきたいと考えています。

自立支援協議会について

昨年も自立支援協議会の部会である「就労部会」の部会長を務めさせて頂きました。昨年は「①瑞穂町役場での庁内実習、②商工会との連携の模索」において協議を重ねてきました。

町役場での庁内実習については、先駆的に取り組んでいる近隣市を視察し、瑞穂町のスケールに適した形で実施しようと検討しています。実際の仕事を通して、ご自身の強みや課題を見つけられるような場を目指してきたいと思います。

商工会との連携については、当事者の皆様からの「近場で就職したい」という声が多いこと、また瑞穂町内企業に対して障害者雇用の啓発活動を行いたいという部会での提案から動き出しました。昨年は就労部会の事務局と商工会を訪問し、PR活動や啓発活動に関して提案させて頂きました。障害者雇用を考えている企業の疑問点を解消するとともに、当事者の皆様が活躍できる場所の開拓に繋がればと思っております。

最後になりますが、皆様のますますのご発展とご多幸をご祈念申し上げまして新年の挨拶とさせていただきます。

A photograph of four people (three men and one woman) sitting on a large log in front of a large tree. They are all smiling and looking at the camera. The woman is on the far left, wearing a brown jacket. The man next to her is wearing a dark jacket. The man in the center is wearing a light blue long-sleeved shirt and a white cap. The man on the far right is wearing a dark jacket and a white cap. In the background, there is a large tree, a sign that says "Campus", and some parked cars.



あかつき

10月
5日セルフあかつき &
スペース・まどか

山梨方面

今回の目的地の河口湖も、ホテルバイキングも、山中湖花の都公園も洩れなく雄大な富士山がバックについてくるはずでした。が、当日は生憎の空模様で富士山の「ふ」の字も見えない始末。本物の富士山を拝めれば更に



旅行気分も盛り上がったのですが、ないものねだりをしても始まりません。本来ならそこに見えるであろう方向にエアー富士山を眺め、想像力を駆使して旅気分を満喫しました。

遊覧船でまったり景色を眺め、バイキングメニューの美味しさに舌鼓を打ち、公園で花を愛で、お土産選びにウキウキして、とそれはそれで充実した楽しい旅行になりました。

あ!あそこに
富士山が...!?10月
11日瑞穂町心身障害者(児)
福祉センターあゆみ

奥武蔵

地域活動支援センター（以降、地活）の日帰り旅行は行き先を選ぶのに苦労しています。条件として、なるべく地活の活動時間内で行ける場所となるので近場であることや、利用者さんのみんなが楽しめること、重度の障がいがある方が多いので、バリアフリーや広い障害者用トイレなどが完備されているなど、いろいろ条件が必要となるためです。

そのため移動時間1時間～1時間半で行けるところを非常勤職員も含めて検討し、結果秩父にある「国民休暇村 奥武蔵」に行くことになりました。本来は宿泊施設ですが、自然に囲まれた場所にあり、体験等のコースや昼食も利用でき、設備面でも整っているので条件にも合いました。

あゆみの場所だと大型バスが入れないため、当日は送迎の発着を箱根ヶ崎駅にし、大型バスに乗り換え出発としました。バスの中ではカラオケやクイズ等で道中を楽しみ、道も空いていたこともあり予定より早く国民休暇村奥武蔵に到着しました。

比較的新しいところだったので、建物もきれいで広い敷地でしたが、残念なことに小雨が降っていたので散策が出来ず、すぐに建物に入りました。

少しロビーで待ち昼食となり、事前に個々に希望を聞き注文をしておいた昼食を楽しく、おいしく食べました。

食後には、鹿角ストラップの作成を行いました。鹿の角をビーズ位の大きさに切り、穴をあけてあるものに色々な色などが施してあり、その部品を利用者さんに選んでもらい紐に通していくという作業です。みんな個性のある鹿角ストラップができましたが、普段の自主製品でビーズ作業をしていることもあり慣れた手つきで行えました。

その後ロビーに移動し、お土産を買ったり、アイスを食べたりしながら過ごしました。普段アイスなど甘いものを好まない方も場所や雰囲気なのか食べていたりしていました。

帰りも順調で、バスの時間を楽しみながら箱根ヶ崎駅まで戻ってこられました。

今回の日帰り旅行は、高級な（高級そうな？）ホテルで食事をして、鹿角ストラップを作るなど、今までにない経験ができたと思います。





「発達障害とは何か」

企業における就労・定着支援の現状と課題」に参加して

スペース・まどか 大庭 一茂

今回、独立行政法人高齢・障害・求職者雇用支援機構障害者総合センター研究企画部障害支援部門研究員の講師知名青子氏にお話を聞いてきました。

・はじめに発達障害とは何か

発達障害支援法による発達障害とは何か？

時期は発達期で概ね18歳頃までを指す。原因は様々な要因によって中枢神経系に何らかの障害が生じた為に起こると考えられている。発達障害によって起こる問題として、認知・言語・学習・運動・社会性のスキル獲得に困難が生じるようになる。

発達障害に含まれる診断名は、発達障害者支援法の範囲では、「広汎性発達障害」（自閉症、アスペルガー症候群、その他特定不能の広汎性発達障害）、「学習障害」、「注意欠陥多動性障害」、「発達性言語

障害」、「発達性運動協調障害」などである。

発達障害の行政的定義は、平成17年4月1日から施行された発達障害支援法において発達障害とは、①自閉症、アルペルガー症候群、その他の広汎性発達障害、②学習障害、③注意欠陥多動性障害、④その他これに類する脳機能の障害であって、その症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定められている。

学習障害の定義は、現行の文部科学省の定義によると、基本的には全般的に遅れはないが、聞く、話す、読む、書く、計算する又は推論する能力のうち特定のものの習得と使用に著しく困難を指す状態である。その原因として、中枢神経系に何らかの機能障害があると推定されているが環境的な要因が直接の原因にはならない。

注意欠陥・多動性障害とは、不注意、多動性および衝動性について青年、成人（17歳以上）では、少なくとも5つ以上存在し、社会生活や学校生活を営む上で支障がある事を指し、著しい不適応が学校や家族などの複数の場面で見られている。また成人期には多動性の問題が改善されている事例が多い。

広汎性発達障害について・特定不能の広汎性発達障害・アスペルガー症候群・高機能自閉症・自閉症の4つの事を指すが、現在では

4つの障害を合わせて自閉症スペクトラム障害と言うことが多い。

発達障害の場合には、各都道府県で手帳の認定を受けられる。療育手帳と精神障害者保健福祉手帳があり、それぞれ認定の条件が異なり、療育手帳は、IQ70～75以下の方。知的機能の障害が発達期にあらわれ日常生活に支障が生じているため、何らかの特別な援助を必要とする状態にある方が交付することが出来る。精神障害者保健福祉手帳は、精神障害や発達障害があるために日常生活・社会生活への制約がある方に交付することとができる。手帳認定の対象外の者は原則として存在しない。ただし、手帳の認定は都道府県・政令指定都市の所管事項であり基準や判断に地域差がある。

1. 発達障害者が事例化する背景
障害の理解に関してもいくつかの事例があり、先天的な障害として理解し、特別支援教育を受け学校を卒業し、早い時期から障害と向き合い生活を設計していくタイプと障害を想定せずに理解がなく、通常教育を受け学校を卒業し、入職もしくは職場適応に於いて障害と向き合う生活を余儀なくされるタイプに分かれる。

本人が障害を気づく事にも、きっかけや背景によって差があり、

高次脳機能障害は事故・病気などによって身体的・精神的な障害で受障前の生活設計を余儀なくされる場合と発達障害は受障の契機がなく発達とともに課題が現れ変化することから障害に気づきにくい。自己理解によって、学校生活や職業生活に困難があることが多い。障害に向き合う事が必要で、特性に関する支援が不可欠であり、特性理解を踏まえた上で仕事の選択をすることが重要である。

2. 職場で起きやすい問題と対応例
・社会性の問題・コミュニケーションの問題・こだわりの問題がある。

特性理解が必要であり、作業遂行特性については、苦手な作業、安定しない作業等の得意・不得意の作業の把握。職場のルールやマナーについては、明示した方がよいルール、苦手な暗黙のルールは何か等の本人がわかりにくいルールやマナーは何か。できること、得意・可能な対処方法を理解については、出来る作業・無理の少ない作業を選ぶことが適応・定着のポイントであることに気づき、ストレスや疲労の現れ方を理解し、対処方法を見つけることが重要である。

3. 企業における就労・定着支援の現状と課題

平成21年7月～8月に行った調査で、雇用障害者数は知的障害者が最も多く、次点で身体障害者、精神障害者の順で多かった。ただし、知的障害について軽度の方が多く、身体障害者については重度が多かった。

採用方法は企業によって異なるが、面接、採用試験を実施することが多く、採用時に重要視されているのが、その職種に適した基礎能力があるか・コミュニケーション能力があるかである。

企業が研修後に、重要だと考えている事は、挨拶ができるか、返事ができるか、遅刻や休暇の連絡がきちんとできるかを重要視している企業が多い。

4. 感想

その人によってできる作業は違うので、できる作業から行うようにして頂いて、少しずつできる作業を増やしていき、作業の幅を広げて行けるように支援していきたいと思っています。

作業の手順など詳細にわかりやすいように説明しないといけないと感じました。

また、日々の体調を確認し、体調の変化の現れ方を理解して対処できるように心掛けたいと思います。

新人紹介



さくら
金武 かおりさん

■11月より復帰させて頂きました。
早く仕事を覚えて戦力になれるよう頑張りたいと思います。
どうぞよろしくお願い致します。



さくら
大橋 直行さん

■平成30年11月22日から瑞穂町福祉作業所さくらに入所しました。入所したばかりで分からない事が多いかもしれませんが、施設長をはじめ、親切にアドバイスしてくれる職員の皆様、利用者の皆様と一緒に働く事が出来大変嬉しいです。就職活動を目指して頑張りますので、宜しくお願いします。趣味は絵を描く事です。特技は記憶力です。



とらい
小林 広さん

■昨年9月より障害者就労支援センターとらいで勤務させて頂いています小林広と申します。センター長をはじめ、先輩の職員の方々に教わりながら、毎日充実した日々を送らせて頂いています。目の前にいる利用者の方としっかり向き合い関わっていくことを目標に頑張っていきたいです。



作業部二課
富永 洋幸さん

■このたびあかつきコロニーの2かにかようことになりました。
ぼくは、埼玉西武ライオンズの大ファンです。
よろしくおねがいいたします。



スペース・まどか
井上 寿雄さん

■11月から参加させて頂いています。
なれない仕事ですが、がんばりますのでよろしくお願い致します。



スペース・まどか
丸山 喜央さん

■12月10日に入社しました。
入社してまだ日が浅いため、仕事を一生懸命に覚えている状態です。
休日はサイクリング、散歩などをしています。
よろしくお願い致します。



スペース・まどか
内野 明さん

■11月から入りました。
趣味は音楽です。
頑張りますので
よろしくお願い致します。



スペース・まどか
木村真理子さん

■私は、まどかを利用するのは2度目です。
今回の目的は一般就労すると言う事です。
しばらくまどかにお世話になります。
よろしくお願い致します。



スペース・まどか
青木 一夫さん

■去年から入所しました。
趣味はお神輿です。
不慣れですが頑張りますので引き続きよろしくお願い致します。

9月
26 21 20 19 14 12 10 9
村山5中学生職場体験受入
日帰り旅行 (さくら)
地震避難訓練 (法人施設)
利用者健康診断 (法人施設) 20日迄
利用者健康診断 (授産所)
第三者評価職員説明会 (セルプ、まどか)
第三者評価職員説明会 (法人施設) 11日迄
消防設備点検 (法人施設)

8月
4
水質検査 (法人施設)
中原自治会夏祭り (法人施設)
納涼会 (法人施設)
窓清掃ボランティア (さくら)
地震避難訓練 (法人施設)
地域子ども交流会 (あゆみ)
(法人施設)

主な事柄

瑞穂町駅伝競走大会

年が明けた1月20日、あかつきコロニーの誇る瑞穂町内の事業所が連合し「あゆみ・さくらチーム」として、第43回瑞穂町駅伝競走大会に出場しました。

実は、大会には今回で3回目の参加となります。15.1kmの行程を6名のランナーが襷を繋いでいきます。急勾配の坂道という難所もあり、なかなか厳しいコースですが、お正月の箱根駅伝をみてイメージ作りは十分に仕上がっています。後はひたすら自分を信じて走るのみ。

寒空の下、チームカラーのオレンジとピンク色のシャツが鮮やかに瑞穂町の街中を駆け抜けていきます。沿道からの歓声を浴び、皆さん精一杯力を出し切り、最後まで襷を繋ぐ事が出来ました。結果は、と申しますと、参加することに意義があり、仲間の結束力が一層深まったのではないのでしょうか。

来年の参加の際にも是非、皆様の応援をお願いします。



10月
1
就労定着支援事業開始 (セルプ)
赤い羽根共同募金 (授産所)
第三者評価利用者調査 (セルプ、まどか)
日帰り旅行 (法人施設)
第三者評価利用者調査 (授産所)
虐待防止マネジャー会議 (あゆみ)
日帰り旅行 (授産所)
消防設備点検 (さくら)
利用者健康診断 (さくら)
職員健康診断 (あゆみ)
火災避難訓練 (法人施設)
村山デイドラ祭り (とらい) 28日迄

出張・研修

28	瑞穂町ふれあいまつり (さくら・あゆみ)	10	中堅職員研修 (田中 11日迄)	12	都強度行動障害研修 (新庄 5日迄)
30	防犯講習会 (あゆみ)	20	財務マネジメント研修 (五十嵐)	17	武蔵村山市日中活動部会 (永井)
29	作業部一課内部監査 (授産所)	21	瑞穂町自立支援協議会 (高橋・戸村)	25	就労ネット (大野)
31	地震避難訓練 (あゆみ)	23	武蔵村山市日中活動部会 (永井)	23	多摩障害就労支援連絡会 (大野・福士・田島)
11	瑞穂町産業まつり (さくら・あゆみ 11日迄)	23	就労ネット(大野・高橋一) (永井)	29	花壇会議 (大野・福士・田島)
10	建築設備点検 (あゆみ)	24	多摩障害就労支援連絡会 (大野・福士・田島)	30	就労支援セミナー (田島)
12	都実地検査(法人・セルプ)	27	相談支援部会学習会 (神山・大滝)	31	精神就労定着支援連絡会 (西出・大庭)
14	都実地検査	28	花壇会議 (稲場)	11	東社協身障部会総会(永井)
16	都実地検査 (授産所・まどか)	30	給付費請求業務研修会 (利根川)	6	年末調整説明会(利根川)
21	第三者評価訪問調査 (セルプ)	31	精神就労定着支援連絡会 (西出)	8	ゼンコロ運営委員会・総会 (遠藤 9日迄)
22	インフルエンザ予防接種 (あゆみ)	7	業務連絡会(熊谷・富田) (高橋・遠藤)	13	武蔵村山市障害者 (利根川)
24	地震避難訓練 (あゆみ)	12	都庁 (高橋・遠藤)	8	武蔵村山市自立支援協議会 (高橋)
29	理事会 (あゆみ)	31	茶花会議 (西出)	11	内野 明 (まどか)
12	12月	9	9月	10	青木 一夫 (まどか)
3	第三者評価訪問調査 (まどか)	18	武蔵村山市相談支援部会 (大滝)	10	木村真理子 (まどか)
6	第三者評価訪問調査 (授産所)	20	瑞穂町生活部会 (神山)	11	井上 寿雄 (まどか)
8	瑞穂町ふれあいカラオケ大会 (あゆみ・さくら)	18	瑞穂町福祉法人連絡会・ (福士)	12	大橋 直行 (さくら)
13	建築設備定期検査 (法人施設)	20	瑞穂町福祉法人連絡会・ (福士)	12	金武かおり (まどか)
20	地震避難訓練 (あゆみ)	27	茶花会議 (熊谷)	16	丸山 善央 (まどか)
22	評議員会 (あゆみ)	25	花壇会議 (西出)	16	黒川健一郎 (まどか)
28	納会・忘年会 (あゆみ)	28	就労ネット(高橋・利根川・戸村) (高橋一・大野)	16	渡辺 健二 (総務)
	(法人施設、さくら)	28	就労支援セミナー (田島)	16	吉岡 和美 (さくら)

寄付

10月17日、朝日管財様よりご寄付を頂きました。
謹んで御礼申し上げます。
11月29日、(株)イー・エー・ティー様よりご寄付を頂きました。
謹んで御礼申し上げます。

寄贈

12月22日、福祉センターあゆみにおいてイオンモールむさし村山様よりクリスマスプレゼントのご寄贈を頂きました。
謹んで御礼申し上げます。
12月26日、(株)トーヨー様よりお餅のご寄贈を頂きました。
謹んで御礼申し上げます。

ボランティア

8月11日、ハウスクリーニング協会様が法人施設の窓拭きボランティアに来てくださいました。
謹んで御礼申し上げます。

